

質問回答

2016年8月8日

「2016年度案件別外部事後評価:パッケージ III-4(インド、スリランカ)」

(公示日:2016年7月27日/公示番号:160506)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	<p>p.20-21</p> <p>第2 業務の目的・内容に関する事項</p> <p>「3. 実施方針および留意事項」(6)</p>	<p>「『ハリヤナ州森林資源管理・貧困削減事業』について、質的評価分析を用いた詳細分析を本件事後評価において実施し、森林セクター案件の新規形成で考慮すべき有益な提言、教訓を得るために、事後評価時点での効果発現村落と未発現村落との比較を行う」とあります。</p> <p>本調査では、ハリヤナ州(関東地方一都六県の1.5倍の面積)において、非常に限られた工程日数での効率的な詳細分析調査の実施が求められています。このため、プロポーザル提出にあたって提案する調査計画(調査工程案の策定及び詳細分析費用の見積もり)に際し、以下の事項につきご教示下さい。</p> <p>事業開始時点でベースラインデータの収集・分析の有無、データ収集地区/村落名・数、データ内容</p> <p>事業実施期間中のモニタリングデータの収集・分析の有無、データ収集地区/村落名・数、データ内容</p>	<p>詳細分析については、JICAはベースラインデータ、モニタリングデータを保有していないため、現地調査時に森林局へデータの有無を確認する必要があります。調査対象としたうち、ベースラインやモニタリング時のデータがない村落については、受益者調査の際に、過去や実施中についての質問項目も入れることで、一定の情報収集を行うことを想定しています。</p> <p>また、業務指示書24頁に記載のとおり、本質的比較分析に係る業務量は0.45M/M(現地0.20M/M、国内0.25M/M)程度を想定していることから、基本的には同業務量で可能な調査範囲・内容をご提案ください。</p>

2	<p>p.22 第2 業務の目的・内容に関する事項 「4. (2) 第一次現地調査」でいう受益者調査</p>	<p>『『ハリヤナ州森林資源管理・貧困削減事業』の受益者調査について、計画時の想定では『道路等保全植林』、『国有林植林』、『共有地植林』に区分されている」とあります。</p> <p>本調査では、ハリヤナ州(関東地方一都六県の1.5倍の面積)において、非常に限られた工程日数での効率的な受益者調査の実施が求められています。このため、プロポーザル提出にあたって提案する調査計画(調査工程案の策定及び受益者調査費用の見積もり)に際し、以下の事項につきご教示下さい。</p> <p>『道路等保全植林』、『国有林植林』、『共有地植林』のそれぞれの地区/村落名 『道路等保全植林』、『国有林植林』、『共有地植林』がある地区/村落の重複の有無</p>	<p>については、21地区あるハリヤナ州のうち、本事業では17地区の約800村が対象となっていますが、対象村の位置、植林内容などの詳細は森林局に確認が必要になります。本事業活動の対象となった800村はハリヤナ州の森林地域全域にわたっていることから、その想定で有効回答数200を前提としたプロポーザルをご提案ください。</p> <p>については、具体的な対象地区、村落の情報については、JICAは保有していないため、現地調査時に森林局に確認する必要があります。また、1つの地区において『道路等保全植林』、『国有林植林』、『共有地植林』が重複して実施されている地区は存在しますが、具体的な村落名については森林局への確認が必要です。</p> <p>【参考：ハリヤナ森林局の本事業の紹介ページ】 http://haryanaforest.gov.in/jica.aspx</p>
---	--	--	---

以上